広報 ましこ

益子町キャラクターマーク
「マンコット」

- 26年度下半期町の財政状況
- 土祭２０１５の開催について

●しだれ桜と菜の花が咲く小宅古墳群

平成27年
5月号
第598号

平成26年度下半期 町の財政状況

町の予算や財産は、条例（益子町財政状況の公表に関する条例）で年2回公表することになっています。町の皆さんが納めた税金がどのように使われていたのか、などを知る手がかりになるものです。今回公表するのは、平成26年度下半期（10月から3月まで）の状況です。

（平成27年3月31日現在）

予算の執行状況

会計区分		予算現額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
一般会計		82億6,425万円	79億1,183万円	95.7%	71億1,028万円	86.0%
特別会計	国民健康保険	29億8,297万円	25億8,522万円	86.7%	26億5,475万円	89.0%
	後期高齢者医療	1億7,843万円	1億7,659万円	99.0%	1億7,270万円	96.8%
	介護保険	15億5,563万円	13億4,431万円	86.4%	13億1,465万円	84.5%
	内訳 保険事業	15億4,603万円	13億3,618万円	86.4%	13億1,082万円	84.8%
	内訳 サービス事業	960万円	813万円	84.7%	383万円	39.9%
	公共下水道事業	4億7,261万円	4億3,533万円	92.1%	3億2,577万円	68.9%
	農業集落排水事業	1億 635万円	1億 461万円	98.4%	9,818万円	92.3%
合計		135億6,024万円	125億5,789万円	92.6%	116億7,633万円	86.1%

一般会計内訳

歳入

区分	予算現額	収入済額	収入率
町税	23億6,816万円	23億1,705万円	97.8%
地方交付税	19億9,109万円	20億6,769万円	103.8%
国庫支出金	11億1,584万円	9億6,274万円	86.3%
県支出金	6億8,380万円	5億1,683万円	75.6%
町債	6億6,318万円	6億6,198万円	99.8%
繰入金	4億 307万円	3億2,860万円	81.5%
繰越金	2億5,235万円	2億5,235万円	100.0%
地方消費税交付金	2億3,860万円	2億4,543万円	102.9%
分担金及び負担金	1億1,863万円	1億1,198万円	94.4%
地方譲与税	8,457万円	8,623万円	102.0%
その他	3億4,496万円	3億6,095万円	104.6%
計	82億6,425万円	79億1,183万円	95.7%

歳出

区分	予算現額	支出済額	支出率
民生費	27億1,163万円	24億2,902万円	89.6%
総務費	9億9,712万円	9億2,787万円	93.1%
教育費	8億2,327万円	7億6,778万円	93.3%
農林水産業費	7億2,660万円	5億2,490万円	72.2%
土木費	6億3,637万円	4億6,980万円	73.8%
公債費	6億 704万円	6億 447万円	99.6%
衛生費	6億 607万円	5億 944万円	84.1%
消防費	5億4,801万円	4億4,462万円	81.1%
商工費	3億6,783万円	2億6,110万円	71.0%
諸支出金	5,646万円	4,045万円	71.6%
その他	1億8,385万円	1億3,083万円	71.2%
計	82億6,425万円	71億1,028万円	86.0%

町の財政

基金・出資金等	25億2,178万円
土地	1,869,080㎡
建物	87,200㎡

町債の状況

臨時財政対策債	39億5,040万円
教育債	11億7,956万円
土木債	10億6,535万円
消防債	3億1,132万円
農林水産業債	1億1,768万円
公営住宅債	1億 388万円
その他	3億 736万円
計	70億3,555万円

町の財産は、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てる「積立基金」、特定の目的のために定額の資金を運用する「定額運用基金」、庁舎敷地・学校敷地・町有林などの「土地」、庁舎・学校・町民会館などの「建物」などがあります。

●お問い合わせ　企画課財政係　☎(72)8830

住民の負担状況

平成27年3月31日における

●人　口…23,452人
●世帯数…7,954世帯

区分	一人当たり	一世帯当たり
町民税（法人分を除く）	39,785円	117,303円
固定資産税	45,420円	133,920円
たばこ税	6,631円	19,550円
軽自動車税	2,239円	6,602円
計	94,075円	277,375円

この土地で生きる祭りとして今年の9月に3回目の土祭を開催します。

土祭 2015 Living with the Earth

会期｜2015年9月13日［日/新月］－28日［月/満月］
会場｜益子町内各所　主催｜土祭実行委員会　共催｜益子町
企画制作・運営｜土祭事務局・土祭企画運営委員会
プログラム内容｜展示・土舞台演奏会・セミナー・ワークショップ
映画映像・演劇・土祭食堂・夕焼けバーほか

＊詳細は、今回「広報ましこ」と一緒にお配りする「土祭プログラム」の案内チラシをご覧ください。

益子流の「地方創生」

実行委員長メッセージ

益子町長　大塚　朋之

「デタ。デタ。メガデタ。」

これは、空き店舗だった所が、2009年の土祭の中でアートの展示会場になり、さらに土祭後に「ヒジノワ」というカフェとしてオープンする際に、土祭の総合プロデューサー馬場浩史氏から贈られた言葉です。

土祭は、「文化の力で、地域を元気にする」という計画のもとに生まれました。だからこそ、開催の度に地域の歴史や文化、さまざまな資源を掘り起こし、また「益子ならではの文化」を問い続けてきました。アートの展示やさまざまな企画の会場は、益子町の、そしてそれぞれの地域にとっての「ツボ」とも言える場。各回の土祭の中で、アートとともに照らされた「ツボ」は、前述のカフェのように再生され、地域に「希望」をもたらしています。

第3回目となる今回は、昨年10月から「地域ごとに風土・風景を読み解くつどい」を開催し、皆さんと地域の魅力を再発見・新発見しながら「土祭やその後の地域づくりにどう生かしていこう」という取り組みを始めています。「つどい」の場で交わされたことを参考にしながら、昨年夏から会議などへの参加をお願いしているワーキンググループ・地域リーダー計14名の町民代表の皆さんとともにプログラム内容や会場、コースなどを考えてきました。

今回、展示やイベントの会場はさらに広がり、田野、七井、塙にも「風景遠足」という企画で来場者をご案内します。これから自治会長さんや地域リーダーさんと、土祭後にもつながるような地域での取り組みを皆さんに活発に進めてもらえたらと思います。それぞれの地域の「希望の芽」を育てていきましょう！

■企画運営委員会の土祭ワーキンググループと地域リーダーの皆さん。前列左から、山崎喜生さん（西明寺）、黒子善久さん（上大羽）、町田泰彦さん（大沢）、廣瀬俊介さん（土祭風土形成ディレクター）、大塚町長、大塚ゆかりさん（城内）、塚本ゆ美子さん（城内）、後列左から、小玉貴浩さん（山本）、川崎義博さん（土祭表現ディレクター）、仲野信吾さん（上大羽）、高田英明さん（大沢）、高山英樹さん（下大羽）、法師人和哉さん（新町）、植田光司さん（内町）、大塚一弘さん（サヤド）。豊田英雄さん（田町）、神谷耕司さん（サヤド）がお休みでした。

他の地域の皆さまにはお知らせや取り組みに、自治会長さんなどのお力をお借りします。皆さま、どうぞよろしくお願いします！

◆5月以降の「風土・風景を読み解くつどい」のお知らせ

下大羽　5月9日（土）下大羽コミュニティセンター
塙　5月24日（日）塙公民館
星ノ宮　6月13日（土）星ノ宮公民館

時間はいずれも18時30分～20時30分です。

7月20日には、駅舎2階多目的ホールにて「風土・風景を読み解くつどい報告会」を開催予定です。時間や内容など詳細は追ってお知らせします。

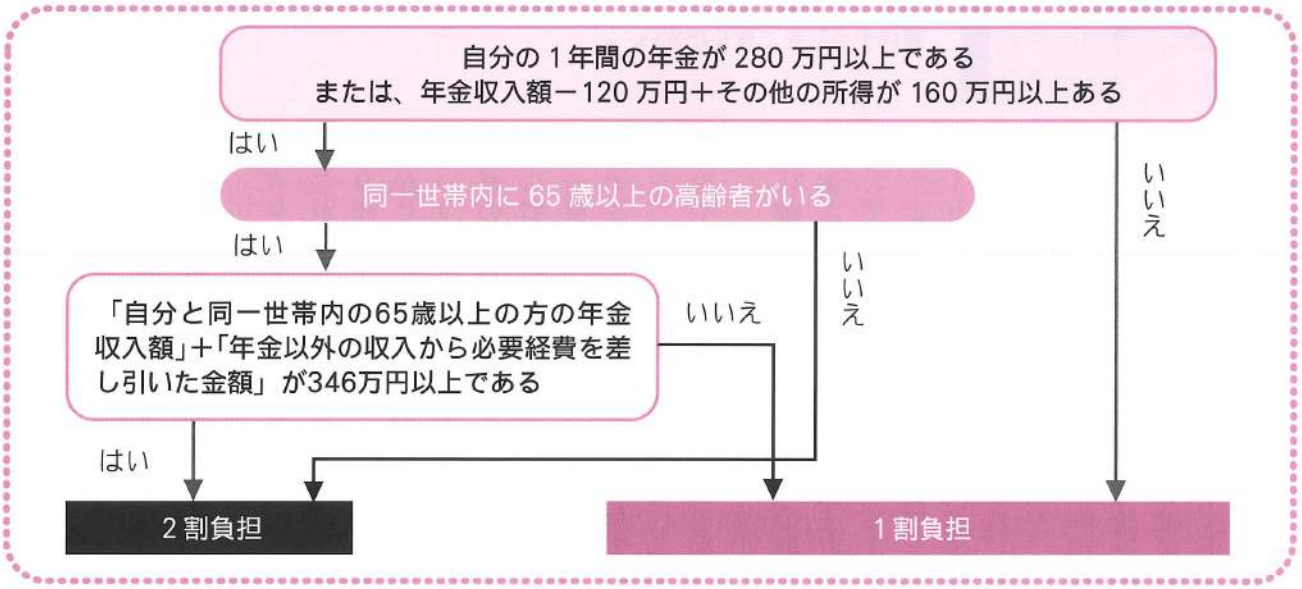
●お問い合わせ　土祭事務局　☎（72）8873

8月から介護保険の一部が変わります

【1】一定以上の所得のある方が介護サービスを利用するときの利用者負担金が変わります

介護保険のサービスを受けた時には、通常、支給限度額の範囲内で1割の負担となっていますが、8月から一定以上の所得のある方は「2割負担」となります。

なお、介護保険の認定を受けている方には、8月までに介護保険負担割合証が交付されます。これにサービスを利用するときの利用者負担の割合（1割または2割）が記載されています。有効期限は1年間（8月～翌年7月）です。



【2】高額介護サービス費等の支給区分が変わります

同じ月に利用した介護サービスの利用者の負担額を合算（同じ世帯内に複数の利用者がいる場合には世帯で利用した負担額を合算）し、上限額を超えた分が「高額介護（予防）サービス費」として、後から支給されます。下の表のとおり、8月から現役並み所得者の区分が設けられます。

利用者負担段階区分	上限額（月額）	
	平成27年7月まで	平成27年8月から
○ 現役並み所得者 ※		世帯 44,400円
○ 一般世帯	世帯 37,200円	世帯 37,200円
○ 住民税世帯非課税	世帯 24,600円	世帯 24,600円
○ 合計所得金額および課税年金収入額の合計が80万円以下の方	個人 15,000円	個人 15,000円
○ 生活保護の受給者 ○ 利用者負担額を15,000円に減額することで、生活保護者とならない場合	個人 15,000円 世帯 15,000円	個人 15,000円 世帯 15,000円

※　現役並み所得者とは、同一世帯内に住民税課税所得145万円以上の65歳以上の方がいて、収入が単身で383万円以上、2人以上で520万円以上の方をいいます。

【3】施設を利用した場合の「居住費・食費」の負担限度額が変わります

低所得の方が施設を利用しやすいように、限度額を設けてそれを上回る分を介護保険から給付していますが、次のような条件のどちらかにあてはまる方については、8月から該当しなくなります。

○住民税非課税世帯であっても、世帯分離している配偶者が住民税課税者の場合

○住民税非課税世帯（世帯分離している配偶者も非課税）であっても、預貯金等が単身で1,000万円、夫婦で2,000万円を超える場合

●お問い合わせ　高齢者支援課介護保険係　☎（72）8852

益子町消防団辞令交付式

4月19日（日）、町消防団の辞令交付式が役場において行われ、今年は、新たに15名が入団しました。式終了後、新入団員を対象に行われた消防職員による礼式訓練では、終始緊張した面持ちで敬礼や号令など基本動作の指導を受けていました。

▲宣誓書を読み上げる新入団員

▼消防職員による礼式訓練のようす

（敬称略）

【部長】

1-1 亀田 寛記（益子・城内坂）
1-2 塚本 貴郎（益子・城内坂）
1-3 江川 竜生（サヤド）
1-4 三村 一彦（塙・星の宮）
1-5 菅又 厚（生田目）
1-6 大関 敏弘（上大羽・下大羽）
2-1 藤澤 正幸（七井）
2-2 佐藤 巧（七井）
2-3 髙田 光司（小宅・大平・芦沼）
2-4 大塚 竜太（大沢）
2-5 萩原 教充（北中・風戸・中村）
3-1 塚田 浩司（長堤・上山・前沢）
3-2 齋藤 教翁（小泉・本沼・梅ヶ内）
3-3 柳 淳（山本・大郷戸）
3-4 高久 祥孝（東田井）

【新入団員】

1-1 上遠野 武士朗・加藤 諭
1-2 長尾 峻平
1-3 坂本 靖二
1-4 勝田 拓也・川住 千里
2-1 野澤 竜一
2-4 佐藤 秀樹
2-5 萩原 光・宗像 優・齋藤 仁
3-2 仁平 佑一
3-3 小玉 裕貴・藤田 真行
3-4 内山 幸之

日本消防協会長より表彰されました

▲ 福田第３分団分団長

永年にわたり消防職務に精励されたとして、福田浩第３分団分団長に財団法人日本消防協会長から精績章が贈られました。

◆消防団役員が替わりました

3月31日をもって、益子町消防団第1分団副分団長の佐藤均さんが退団され、新たに和田進一さんが就任されました。

▲和田第１分団副分団長

平成27年度軽自動車税の減免について

身体や精神に障がいのある方のために、使用される軽自動車税を減免します。

減免申請期限
5月25日(月)

【減免の対象となる軽自動車】

心身障がい者の方のために使用される、次の表の要件を満たす軽自動車です。

◆減免を受けることができる自動車は、**心身障がい者の方１人について１台**です。従って、自動車税の減免を受けている間は、軽自動車税の減免を受けることはできません。

◆リース車は該当になりません。

◆表の「所有」には、割賦販売により所有権が売り主に保留されている場合の使用者である場合を含みます。

運　転　者	所有(取得)者	要　件　等
心身障がい者	心身障がい者	心身障がい者の方が運転する場合は心身障がい者の方が所有（取得）する軽自動車に限ります。
生計をーにする方	心身障がい者	障がいのある方が同乗して使用される必要があります。
	生計をーにする方	
常時介護する方※	心身障がい者	
	常時介護する方	

【申請に必要な書類】

①減免申請書（税務課に備えつけてあります）

②身体障害者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれか

③運転免許証

④印鑑

⑤軽自動車税納税通知書(５月８日発送予定)

⑥自動車検査証

⑦常時介護証明書（※印の方が申請する場合のみ）

障がいの程度によっては該当しない場合があります。また、軽自動車税の減免申請は毎年申請が必要です。

●お問い合わせ　税務課町民税係　☎（７２）８８３２

≪自動車税の納税通知書は届きましたか？≫

自動車税の納期限は６月１日（月）です。

納期限までに、お近くの金融機関・郵便局・コンビニエンスストアで忘れずに納付しましょう。(コンビニエンスストアでは、土・日・祝日にも納付ができます。)

また、口座預金からの振替による納付もできます。安全で便利な口座振替をぜひご利用ください。

なお、心身障がい者の方には、障がいの程度など一定の要件のもとに減免制度があります。

詳しくは下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ　栃木県真岡県税事務所（真岡市荒町５１９７）　☎（８２）２１３５

新年度の税務証明書の発行開始日について

課税証明書・非課税証明書（平成２７年度）、所得証明書（平成２６年中の所得）の発行開始日は下記のとおりです。ただし、課税資料（申告など）のない方については、発行できない場合があります。あらかじめご了承ください。

・給与特別徴収の方（給与から住民税が天引きされている方）

―　平成２７年５月１５日（金）から

・普通徴収の方（納付書や口座振替で住民税を納める方）

・年金特別徴収の方（年金から住民税が天引きされている方）

―　平成２７年６月１５日（月）から

●お問い合わせ　税務課町民税係　☎（７２）８８３２

軽自動車税引き上げの延期について

平成２７年度より、軽自動車税の税率が引き上げされる予定でしたが、下記車種については引き上げが延期されましたのでお知らせいたします。（平成２８年度から引き上げとなります）

車種区分		平成27年度年税額
原付	50cc以下	1，000円
	50cc超 90cc以下	1，200円
	90cc超 125cc以下	1，600円
	ミニカー等	2，500円
軽自動車	二輪（125cc超 250cc以下）	2，400円
二輪の小型自動車（250cc超）		4，000円
小型特殊	農耕作業用	1，600円
	その他のもの	4，700円

※三輪以上の軽自動車については予定どおり引き上げとなります。
（平成27年４月１日以後に新車登録をしたものに限ります。）

●お問い合わせ　税務課町民税係　☎（７２）８８３２

たまな通信

『新橋』橋りょうが完成
開通前に交通安全祈願

▲新橋交通安全祈願祭でのテープカット

4月6日（月）、「新橋」の完成にともない交通安全祈願祭が行われました。

新橋は、生田目地区と東田井地区を結ぶ小貝川に架かる橋で、車両のすれ違いに支障をきたしていたことや架設から50年が経過したため、町道7号生田目東田井線の道路改良工事に併せて、平成25年度から架け替え工事に着手し、今年3月に完成しました。完成した新たな橋は免震構造で、橋長59・3m、幅員7mの2車線に拡幅されています。

開通を前に行われた交通安全祈願祭は、心配していた天気にも恵まれ、地域の方が見守る中、町長や来賓の皆さまが交通安全を祈願しました。

行政相談委員に
中田均氏、岩﨑利郎氏を委嘱

日ごろ皆さまの身近な場所で、行政上の困りごとについて相談相手となる行政相談委員に、引き続き中田均氏、岩﨑利郎氏が平成27年4月1日付けで委嘱されました。

▲中田　均氏

▲岩﨑　利郎氏

行政相談委員は、民間の有識者の中から総務大臣が委嘱しているもので、皆さまから広く行政に対する苦情や意見・要望などをお聴きして苦情の解決を促進し、行政運営の改善を進めることをボランティアとして行っています。

●定例行政相談

開設日　毎月第1水曜日（祝日の場合、第2水曜日）
時　間　午後1時～4時
場　所　益子町福祉センター

「こども１１０番の家」協力のお願い

「こども１１０番の家」は、不審者からの声掛け、わいせつ行為、つきまといなどから子どもを守るための緊急避難所です。

「こども１１０番の家」には、町内の民家、商店、事業所など240カ所（平成27年4月1日現在）が登録されており、子どもへの目印と犯罪の防止を目的として、外から見える場所にプレートを設置しています（右図参照）。

「こども１１０番の家」に協力してくださる皆さんには、子どもが逃げ込んできたときに、次の三つのお願いをしています。

① 避難してきた子どもの（警察官または保護者がくるまでの）保護
② 状況に応じて１１０番への通報
③ 避難してきた子どもの自宅と学校への連絡

◆町では、ご協力いただける方を随時募集しています。ご協力いただける方は、最寄りの小学校にご連絡ください（下記参照）。

設置に当たっての条件

① 子どもの登下校時にできるだけ在宅していること
② 標示板はできる限り、子どもの見やすい場所に設置すること
③ 氏名、住所を小学校、ＰＴＡ、防犯協会、警察、その他教育委員会が必要と認める団体に提供することに同意いただける方

小学校	住所	電話番号
田野小学校	長堤４００	７２－２５３６
益子小学校	益子４６６５	７２－２０１４
益子西小学校	塙１３４４	７２－２５３２
七井小学校	大沢２０２	７２－２４０４

※プレートが古くなったり破損したりした場合は新しいものと交換します。

※登録などの連絡は、月曜～金曜日（祝日除く）の午前９時～午後４時にお願いします。

●お問い合わせ　教育委員会生涯学習課　☎（７２）３１０１

スポーツの結果

◆益子町スポーツ少年団サッカー交流大会
2月28日（土）
町民センターグラウンド

Aリーグ
優　勝　益子西グラディオFC　A
準優勝　七井ミガダイヤモンド　A

Bリーグ
優　勝　田野FC　B
準優勝　益子西グラディオFC　B

Cリーグ
優　勝　田野FC　C
準優勝　七井ミガダイヤモンド　C

◆第42回益子剣道大会
3月1日　総合体育館
（本町入賞者）

個人戦男子
●小学3年生の部
第3位　引田　瑞輝（益子剣）
●小学校4年生の部
第1位　三村　大智（真光館）
●中学1年生の部
第2位　佐藤　廉（益子中）

個人戦女子
●小学5・6年生の部
第1位　大塚　樹（益子剣）
第2位　小林　もえ（益子剣）
●中学1年生の部
第3位　蔦　癒与（田野中）

▲第42回益子剣道大会

一般廃棄物最終処分場建設工事が始まりました

平成29年1月からの稼働を予定している1市4町（真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町）の一般廃棄物最終処分場の起工式が3月29日（日）、芳賀町の建設工事現場で行われました。

式典には、1市4町の首長のほか、工事関係者や地元の自治会関係者などが集まり、処分場工事の無事故完成を祈りました。

▲起工式であいさつする井田真岡市長

ましこのマルシェ春旬祭

3月21日(土)、サヤドのましこのマルシェにおいて、ましこのマルシェ春旬祭が行われました。当日は、町長が一日店長としてレジに立ち、お客さまをお迎えしました。

益子産の食品の販売はもちろん、2月のしもつかれグランプリで第15代鉄人の称号を取得した宮城喜代子さんのしもつかれが振る舞われたり、手打ちそばの実演販売なども行われました。

また、横川駅の峠の釜めしに使用されている益子焼の釜を地域ブランドにすることを目指している「益子おかまブランド推進協議会」が試作した「おかま玉うどん」や「おかまカレーライス」などの5つの試作品も販売され、訪れる人の目を引いていました。

▲1日店長をする大塚町長

栃木県では、『とちぎの元気な森づくり県民税』を導入しています。

県民の皆さまから年間700円ご負担いただき、荒廃した森林の整備や木を使うことの大切さの普及啓発など、大切な森林を次の世代へ引き継ぐために活用しています。

皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

声の広報をご利用ください！

社協登録ボランティア「益子うぐいすの会」では、広報ましこを音訳しカセットテープに録音して、目に不安がある方にお届けしています。ボランティアの皆さんが、記事を正確に伝えられるように検討し、心をこめて録音しています。

ご希望の方は下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ　社会福祉協議会
☎（70）1117

まなびの広場

盛況！あぐり館のそば打ち教室

生涯学習の拠点施設「あぐり館」では、毎月1回そば打ち主催教室を開催しています。毎回15名の定員をオーバーするほどの盛況ぶりで、3月29日（日）に開催された平成26年度最後の教室も19名で実施されました。

メイン講師はあぐり館職員、サブ講師はボランティア3名の計4名で、そばに含まれる成分や人体に対する効用などの教養講話の後、一連の工程を説明してから、実演して見せてくれました。受講生は4名くらいの班に分かれ、各班に付いた講師から丁寧な指導を受けながら、だれもが1回は打ちました。5回目という塙から来た50代男性は「今日が一番出来がいいかな」と、北中から参加した60代女性は「どうにか自分なりに納得できるまでになったので、親しい友達を呼び、家でそばパーティを楽しんだ」と話していました。

最後に講師が打ってくれた細く長いこしのあるおいしいそばを食べ、レベルの違いを感じました。和食ブームも手伝ってそば打ち教室は、どこでも人気メニューですが、当教室は講師全員がこの教室で学んだ受講生で、益子町生涯学習課誕生17年の成長を象徴した「自分のやりたいことを覚え、楽しみ、やりたい人にはわかりやすく工夫して教える」形で、双方楽しい雰囲気の生涯学習の理想的な教室と思い紹介いたしました。

▲毎月１回開催している
あぐり館のそば打ち教室

今月のマナビスト

おおつか　くにのり
大塚　邦紀さん

今月は城内坂の益子走友会を主宰する大塚邦紀さんを紹介します。

最近では街中を走る人を見かけることは、珍しくありませんが、30年前はほとんどいませんでした。そのころから走ることが好きで走っていた大塚さんは、走ることが好きな人たちの大会を開きたいという夢を持っていました。同志を募り、昭和59年に益子走友会を立ち上げ、今年で30年余り経過しました。毎年3月に開催する「城内坂ロードレース大会」は31回を重ね、参加者も年々増加し２００人を超え、大会の運営は容易ではありませんが、高校生などを含む沢山のボランティアに支えられての達成感はひとしおとのことでした。

また、9月開催の「益子ウルトラマラソン大会」も18回となり、沖縄から北海道に及ぶ２５０名を超えるランナーにより、交流の輪が年々広まっているそうです。昨年の第1回「はが路ふれあいマラソン」の際はエイドステーションを設け、温かい飲み物や水餃子などでランナーの歓迎と応援をしました。

一方、地域では「城内坂通り会」の事務局長も務めています。震災後は社会貢献の一環として、両大会やチャリティセールで復興支援を続けています。「これからもスポーツ振興をかね、走ることが好きな人とできるところまで頑張る」と笑顔で話してくれました。

このページは、生涯学習支援ボランティア「学望会」の編集協力により作成しています。情報をお寄せください。

中央公民館　☎(72) ３１０１

交番だより

益子町に勤務する警察官の定期異動について

新しい勤務員

益子交番
すなかわともひさ
砂川知久 巡査部長

七井駐在所
ましこ ただのり
増子忠典 巡査部長

小宅駐在所
まちや たかひろ
町谷学弘 巡査長

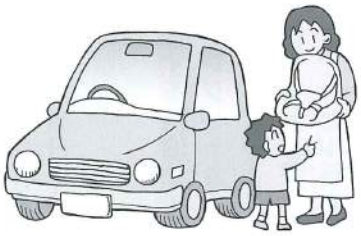
引き続き勤務する勤務員・駐在所員

◇益子交番◇
渡辺 哲夫（わたなべ てつお） 警部補（所長）
石﨑 正之（いしざき まさゆき） 巡査部長
大貫 拓海（おおぬき たくみ） 巡査長
田谷 康男（たや やすお） 相談員

◇田野駐在所◇
橋本 和真（はしもと かずま） 巡査長

益子町に勤務する警察官が一部替わりました。益子町の安全・安心のために、全力で頑張ります。町民の皆さまのご協力をよろしくお願いします。

春の交通安全 県民総ぐるみ運動



5月11日(月)から5月20日(水)までの10日間、春の交通安全県民総ぐるみ運動が行われます。

◆スローガン　マナーアップ！　あなたが主役です

◆運動の重点
【全国重点】
①自転車の安全利用の推進
②すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
③飲酒運転の根絶
【栃木県重点】
○スピードダウン運動の推進
スピードの出し過ぎは・・・
・危険の発見が遅れる
・車の制御が困難になる
・衝突時の衝撃が大きくなる
など、重大事故の原因となります。道路状況に応じた安全速度で走行しましょう。

◆交通事故防止のポイント
①道路の状況に合わせてスピードを落としましょう。
②時間と心にゆとりを持った運転を心掛けましょう。
③住宅街や通学路などでは特にスピードを控えましょう。

交通情報

交通事故発生状況

（3月31日現在）

区分＼年別	平成27年		平成26年		増減	
	3月	累計	3月	累計	3月	累計
件数	0	3	0	6	0	-3
死者	0	0	0	0	0	0
傷者	0	3	0	7	0	-4

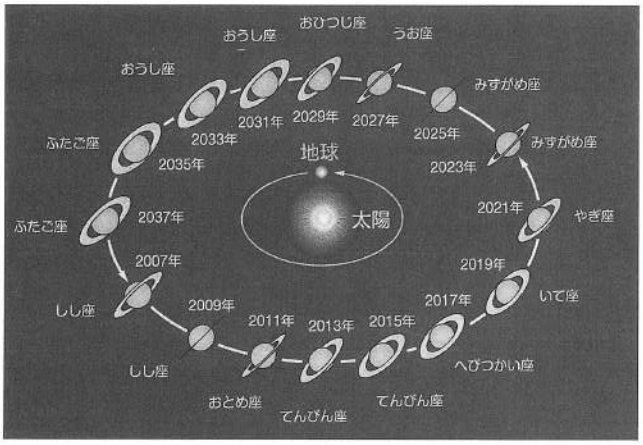
◆交通事故巡回相談

期 日　5月13日(水)
時 間　午前10時～午後3時
場 所　真岡市総合福祉保健センター

※相談を希望される方は、相談日の前日までに、
益子町総務課（☎72-8826）までご連絡ください。
なお、**県民プラザ室交通事故相談所（県庁内☎028-623-2188）**では、土曜・日曜日および休日を除いた毎日相談に応じています。

千夜一夜 201

『衝を迎える土星』



▲ リングの傾きの変化

惑星の中で最も人気を誇る土星が23日にてんびん座で「衝」を迎えます。衝とは真夜中に太陽と地球と土星が一直線に並ぶ現象で、土星の観測には最も良い時期に入ります。

土星は、地球から見ると1公転が約30年あり、約15年の周期で土星の象徴であるリングが見掛け上見えなくなることがあります。

今年は前回のリング消失から6年が経ち、リングがひときわ大きく開くため、小型の望遠鏡でも簡単にリングを観測することができます。気になるリングの正体は、数センチから数十メートルの氷や岩の粒子が綺麗に赤道上空に並んだもので、そのリングの厚さは数百mから数kmと、とても薄いことがわかってきました。最も驚くことは、本体の平均密度が1cm^3あたり0.7gと非常に小さいことにあります。もし、土星の入る大きな海が宇宙にあれば、本当に浮かぶことになるでしょう。

★特別観望会のお知らせ★

春のましこ天文台特別観望会

4月29日(水)～5月6日(水)
(昼太陽の観測／夜木星の観測)
昼／午前10時～正午
夜／午後7時～9時

木星と土星の特別観望会

5月24日(土) 午後7時～

電話で開催日の前日までにお申し込みください。

◆施設利用料　大　人　400円
　　小中学生　200円

●お問い合わせおよびお申し込み
益子町天体観測施設スペース250
☎(70) 3305

消費生活アドバイス 151

インターネットでの旅行宿泊契約トラブルについて

5月の大型連休が近づいてきました。温泉や遊園地などへの旅行を計画されている方もいらっしゃると思います。

最近は、インターネットを使って宿泊予約をするという手段が普及し、ウェブサイトを開ければ、たくさんの旅行情報があふれています。しかし、インターネット予約は手軽に申し込める反面、思わぬトラブルに発展する場合もあります。

【事例1】

ホテルの宿泊サービスがインターネットで予約していた内容と異なっていた。

◎インターネット予約をすると、契約内容が画面上に表示されるのみで、契約書などの書面を省略する取引サイトが多くみられます。トラブルを避けるには、自分がどのようなプランで予約をしたのか証明できるように、申し込み時に、相手先や予約サイトから送られてきた確認メールや予約条件を表示した画面を印刷し、宿泊当日に持参するといいでしょう。

【事例2】

最安値をアピールする宿泊サイトで宿を検索したら「クレジットカードによる事前決済、キャンセル料100%」とのこと。他の予約サイトを探してみると、同じ宿でもキャンセル料の規定などの違いがあり、どこを利用すれば良いか悩んでしまう。

◎「宿泊予約サイト」は検索方法から予約手配への流れについて、どこも似たような手順をたどりますが、契約先が旅行会社か宿泊施設などによって、適用法令が変わります。旅行会社と契約した場合は、旅行契約となり、旅行業法が適用されます。宿泊施設と契約した場合は宿泊契約となり、宿泊条件やキャンセル時の扱いは、宿泊施設が提示する宿泊契約の範囲内で扱われることになります。

トラブルになった場合は、消費生活センターに相談しましょう。

●お問い合わせ
芳賀地区消費生活センター
益子町大字益子2030
益子町役場敷地内
☎(81) 3881
FAX(81) 3025

健ーり
保センタ
だよ

●●●健診の申し込みが始まりました！●●●

～自分の健康のために、年に1回健診を受けましょう～

【今年度から、特定健診の検査項目にヘモグロビンA1cが追加されます】

益子町では、特定健診の血液検査で、空腹時血糖値とヘモグロビンA1cを調べることにより精度の高い糖尿病検査を受けることができます。

糖尿病は、病気がかなり進行するまで自覚症状はありません。自分の健康のために、年に1回健診を受けて糖尿病を含む生活習慣病を予防しましょう。

★健診申し込み方法

●平成26年度に受診または予約をされた方

→健診のお知らせの「はがき」が届きます。（4月上旬郵送）

通知されている日程でご都合の悪い方は、希望日をご連絡ください。

●平成26年度に受診されてない方

→自治会を通して配布された（4月配布）「健康づくり年間予定表」をご覧のうえ、電話・FAXもしくは申込書でお申し込みください。

★健診日の1～2週間前ごろまでに問診票と大腸がん検査容器を送付いたします。

【がん検診無料クーポン】

今年も「子宮頸がん検診」「乳がん検診」「大腸がん検診」の無料クーポン券の送付を5月以降に予定しています。

対象者には、後日クーポン券および詳細を個別通知いたします。

★がん検診無料クーポン対象者

（平成27年4月1日現在の年齢）

●子宮頸がん検診
20歳

●乳がん検診
40歳

●大腸がん検診
40・45・50・55・60歳

★ヤングミニ健診（20歳～39歳）ご希望の方

10月1日から受付を開始します。

詳細につきましては、「健康づくり年間予定表」をご覧ください。

健康づくり年間予定表をお持ちでない方は、保健センター・役場（健康福祉課・住民課）・改善センター・あぐり館でお受け取りください。

【健診申し込み・問い合わせ】

◆保健センター
☎（70）1121

益子の歴史をたずねて

芳賀青年の家所長（史学博士）松本一夫

第二回　宇都宮氏と益子の関わり

大羽の地蔵院は、宇都宮家三代の朝綱が、その晩年に先祖をとむらう寺院（尾羽寺、大庭寺、大羽寺とも）を建て、隠居したところとされてきました。

しかし近年、これとは異なる説が有力になっています。すなわち、『尊卑分脈』という比較的信頼できる系図によれば、朝綱の子、業綱は「大庭二郎」と称しており、これは文治五年（一一八九）以前の若い時期の名乗りと考えられます。しかも朝綱の父、宗綱は、宇都宮ではなく八田を名乗り、朝綱は八田および宇都宮を称しています。

▲ 宇都宮家の墓所

これらのことから、朝綱が若い時期の宇都宮氏の本拠地は常陸国八田（茨城県筑西市）にあり、そこから紀氏（後の益子氏）と結んで、まず益子の地に入り、それから後に宇都宮へ進出したとみられるのです。地蔵院に宇都宮家歴代の墓所があるのも、下野における宇都宮氏の最初の拠点が益子の地であったためと考えられます。

一般に武士の苗字は、根拠地の名前に由来する場合が多いのですが、当初は複数の系統の氏族が同じ土地に入り、それぞれその同じ地名を苗字とすることがありました。

たとえば足利には、有名な源氏系の他に藤原秀郷系の足利氏も勢力をもっていました。宇都宮にも藤原氏系の朝綱らとは別に、中原氏の流れをくむ宇都宮氏の勢力をもっていたのです。

●お問い合わせ

中央公民館
☎（72）3101

新着図書の紹介

〈一般書〉

●「小さな幸せ４６こ」
よしもとばなな　著

●「お金が貯まる！45の選択」
森永卓郎　著

●「「使い切る。」レシピ」
有元葉子　著

●「天使になったシュクちゃん」
ヒロコ・ムトー　著

●「無限のビィ」
朱川湊人　著

〈児童書〉

●「おべんとうはママのおてがみ」
たじまかおり　作・絵

●「もう　いいかい」
なかのまさのり　作・絵

●「なにができるでしょーか」
おおもりゆうこ　作・絵

●「たのしいおやすみ
１００１のさがしもの」
ヘイゼル・マスケル　作
あらきふみえ　訳
テリ・カウアー　絵

●「メニメニハート」
れいじょうひろこ　作
ゆう　絵

中央公民館図書室

―夜間もご利用できます―
図書室はボランティアグループ「図書館友の会」の方々の協力により、火～金曜日は、夜8:00まで開いています。ぜひ、ご利用ください。

読んでみませんか…

みやにしたつや 作
ひさかたチャイルド

「ちっちゃなトラックレッドくんとイエローくん」

ちっちゃなじどうしゃのレッドくんは、イエローくんとすいぞくかんににもつをとどけることになりました。イエローくんはおくれてやってきたうえに、「こっちのみちがいいよ」とわきみちへとまちがってしまいました。わきみちはくねくねしているけれど、きれいなはながいっぱい。すてきなけしきもみられます。みちをいそいでいたレッドくんもおおよろこび。それからふたりは、トレーラーおじさんのパンクをしゅうりしてあげたり、ミキサーしゃのおにいさんにガソリンをわけてあげたり…。でも、そんなことをしてたらおそくなっちゃうよ。ちゃんとすいぞくかんにいけるかな！？

栗山圭介 作
講談社

「居酒屋ふじ」

1983年、目黒区蛇崩に一軒の店ができた。店名『居酒屋ふじ』。強烈なキャラクターの「おやじ」高橋俊男と小気味よい包丁の音で彼を支える料理担当の「お母さん」高橋光子が二人で深夜まで営んでいる。そこには中日ドラゴンズの立浪和義が2000本安打達成したバットが飾られている。なぜ、ここに。アルバイト帰りにふと訪れた「僕」はその謎を探ろうと、おやじの話に耳を傾けるのだが……。戦後と昭和とバブルと平成。なさそうで、ありそうな、路傍のおやじが生きた八十余年が、僕たちの生きる道を照射する。

ましこ文芸

俳句

梅の香に小花のじゅうたん春霞　（下大羽）藤田　節子
春嵐弾けて咲ける野辺の花　（新福寺）川田　正子
春の雪満開の桜彩どりて　（サヤド）岡田　実
春川の流れに添へて老二人　（塙）高橋　孝夫
陶器市ゴールデン日に人ざかり　（内町）山本　衣
うぐいすの初音聞こえし春山路　（リバティ）小沼美江子
春日よりサンシュウの木行く人を　（内町）山本　詔
音も無く降りつつ消えつ春の雪　（上大羽）若林　郁代
春耕の音遠くあり陶の里　（新町）谷田部　茂
音立てて障子に影を紋白蝶　（上大羽）磯部のりこ

川柳

表札へ墨の匂いも新しい　（上町）大岡ミネ子
ここまでと桑挟んで忘れてる　（芦沼）手塚みさほ
器用さへ脱帽させた出来上がり　（生田目）佐藤　峰子
無理するな身体労われ母の文　（台町）野崎　光盛
世界なる世は安全と言う難し　（サヤド）岡田　実
満足な笑顔いつもの歌仲間　（下町）大塚　優子
お手伝いやる気を起こすほめ上手　（台町）桜井　トク
宴席が知らぬ同士の胸ひらく　（塙）大関　栄泉
夕暮れの風の寒さに母の声　（台町）加藤　文子
疲れ取りちょっと一ぱい酌むお酒　（リバティ）小沼美江子
ほうとうの本のホンネは根が深い　（東町）松本　一空

短歌

若草に鳳凰が笑む帛紗より師のやさしさがわきいづる日々　（長堤）菅谷　良子
歌はれることなくなりし校歌の碑廃校跡にひっそりと立つ　（城内）日渡　茂一
「桜花いのちいっぱい咲くからに」と詠ひし人を思ひつつ眺む　（新町）小森　ミツ
百までの数え方教えていただいたあの先生の声が懐かし　（生田目）高橋　千代
年毎に否月ごとに衰える吾が身煩悩去りて解脱か　（サヤド）岡田　実
ふるさとの小高い丘の山桜母校廃校を無言で見ている　（内町）松下千津子
総身に朱の花まとふ椿の樹葉を覆ふまでのその力はも　（仲町）押久保節子
春や春千鳥ヶ淵の花筏櫂に乱るる波に漂ふ　（大沢）浦壁　良之
新しき家に似合わぬ古時計少し遅れて時刻を知らせる　（大沢）磯　けい子
安泰の祈願の植樹今に見る八百余年の欅芽吹きぬ　（北中）大木　栄

●川柳・短歌の掲載を希望される方へ
掲載を希望する前の月の10日前までに作品をお送りください。なお、掲載枠の都合上、載せられない場合もありますのでご了承ください。

うぶごえ

3月届出分（敬称略）

自治会名	名前 保護者名
塙上2	大橋 優李（ゆうり） 早織
上町	佐藤 藍花（らんか） 俊藍
青田	金鋪 陽大（あきひろ） 良昭 美里
北中須田	陽菜埜（ひなの） 幸誉 絵美
栗崎杉山	燈真（とうま） 敏由貴
北中清水	桜愛（らな） 祐太 恵
上大羽高松	福（ふく） 泰直子
前沢布施	琉翔（るいと） 雄太 奈緒美
風戸佐藤	季遙（きはる） 友重 実保
サヤド上1	宮本 果凛（かりん） 大智江
田町佐々木	桜（さくら） 聡歩実
石並早川	紗綾（さや） 宗平 杏梨

訃報

3月届出分（敬称略）

自治会名	亡くなられた方 年齢 世帯主
サヤド下	豊田 正夫 86 道夫
長堤	大山 美登里 90 裕次郎
塙下1	樋口 正雄 89 一男
芦沼	和久 金四郎 77 清一
新町下	小玉 透 56 本人
サヤド上2	宮内 正 76 静江
風戸	渡辺 健一 66 好子
栗生	飯野 悦夫 71 本人
塙上1	田口 光 32 正益
大沢里	菊池 ミスイ 81 康典
星ノ宮下1	三村 シン 95 本人
東田井上	柳田 光雄 78 昌子
新福寺	川田 多美子 88 昌一
栗崎	渡邉 まり子 61 久良
サヤド下	山本 宏 72 照子
栗生	飯野 弘 72 玉江
下大羽	池田 愛子 92 忠一
仲町	田谷 芳夫 83 コウ
星ノ宮上1	花塚 勇 41 憲二
風戸	若林 賢 84 本人
西明寺	田中 武夫 88 本人

益子町ふるさとづくり基金

□現在の寄付の累計は次のとおりです。
（4月22日現在）
4月7日 櫻井 豊様（真岡市）
1,000,000円
◆平成27年度累計
1,000,000円
もっともっと素敵な町に……皆さまからの寄付をお待ちしております。

3月の気象観測結果

		平年	27年3月
気温（℃）	最高	21.7	23.8
	最低	−5.1	−3.6
	平均	7.1	7.9
降水量（mm）		77.1	86.0

5・6月の資源物・不燃ゴミ収集日程表

地区名		○紙類 ○カン ペットボトル	○不燃ゴミ ○ビン類 ○衣類・布類
＊田野地区全域 ＊益子地区 生田目、石並、内町、西明寺	5月	1、18	14
	6月	1、12	9
＊益子地区 一ノ沢、城内、新町、田町 塙、星ノ宮	5月	7、20	15
	6月	3、15	10
＊益子地区 栗崎、サヤド、北郷谷、北益子 栗生、上大羽、下大羽 ＊七井地区全域	5月	12、25	19
	6月	5、17	11

◆次回休日受付（家庭ごみ全種類）6月20日（土）8月9日（日）
※芳賀地区エコステーションでの受け付けになります。 9：00～12：00

自宅での生ごみ堆肥づくりに挑戦してみませんか？

環境伝言板

町では現在、生ごみの分別収集・堆肥化事業を実施しているところですが、ご自宅での生ごみ堆肥づくりも推進しています。微生物による堆肥化に興味のある方を対象に「ましこ生ごみ堆肥づくり推進の会」講習会を行います。
この機会に挑戦してみませんか？

◆日　時：6月7日（日）午前10時～
◆場　所：中央公民館2F視聴覚室
◆内　容：EMボカシを使った有機堆肥の作り方・活用の仕方
◆申し込み：住所・氏名・電話番号を下記まで
◆定　員：50人（5月29日（金）締切）

※申込者にはボカシ10kgを配布いたします！
※申し込みがなくても当日受付で講習会のみ聞くことができます。

自宅での堆肥化が難しい方は、引き続き町の収集にご協力ください。

●お問い合わせ・申込先
環境課 生活環境係 ☎（72）8101
〒321−4293 益子町益子2030

今月の輝く汗

《スポーツ団体の紹介》第53回

チーム名　**monja（もんじゃ）**

人　数　２０人

毎週火曜日夜８時から北運動場体育館で、さんちゃんＺＯＯ、Ｂｅｓｔと合同練習を行っているｍｏｎｊａ。

今年で創部15年を迎え、益子町バレーボールリーグ戦大会（年３回）、ソフトバレーボール大会（年４回）に参加しています。大会以外にもバーベキューや旅行などさまざまな活動を行ってます。

現在、部員募集中なので、ｍｏｎｊａホームページをご覧ください！

ましこ四季の花

ましこフラワーボランティア募集中！

ましこ花のまちづくり実行委員会では、花苗の栽培や植え付け、管理などを行っていただく「ましこフラワーボランティア」の会員を募集しています。

昨年度は、マリーゴールド、ビオラの植栽作業や「とちぎ花フェスタ２０１５ｉｎおやま」への研修を行いました。

花に興味のある方、花の知識を学びたい方、花好きのみんなと一緒に花で包まれた元気のある益子町をつくっていきましょう。

●活動内容

花苗や種の植え付け、園芸教室や研修会など

●応募条件

園芸作業に興味のある方

※小学生以下の方は、保護者と登録してください。

○申込方法

ましこ花のまちづくり実行委員会事務局（中央公民館）まで、お電話にてお申し込みください。

お問い合わせ　ましこ花のまちづくり実行委員会事務局
（中央公民館内）TEL 0285（72）３１０１
http://www.town.mashiko.tochigi.jp/ ましこ花のまちづくり で検索

▲益子町の携帯サイトはこちらから

今月のマイ・スナップは、山本の鈴木隆志さん・明美さんのお子さん大翔（やまと）くん（５歳）と奏翔（かなと）くん（１歳２カ月）です。

MY スナップ

弟思いでお笑い大好きやまとと、お兄ちゃんといちごが大好きかなと。これからもずっと仲良し兄弟でいてね！

発行所　栃木県芳賀郡益子町大字益子2030番地
発行人　益子町長　大塚朋之
編集　総務課秘書広報係（電話0285-72-8825）
ホームページ　http://www.town.mashiko.tochigi.jp/
印刷　有限会社あらい印刷